



岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和8年9月4日（金） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
病虫害防除所	企画情報係	渡辺	直 通 058-239-3161
			F A X 058-234-0767
農産園芸課	環境保全農業係	猪原	内 線 4115
			直 通 058-272-8428
			F A X 058-278-2692

「クビアカツヤカミキリ」に係る現地検討会を開催します

「クビアカツヤカミキリ」は、国内の生息域を急拡大しており、本県においては、本年3月に、「病虫害発生予察特殊報」を発出しました。

また、本年5月12日には、「クビアカツヤカミキリに係る説明会」を開催し、生態や特徴、関係法令や対策事業等について県内関係者に周知を図り警戒を促したところです。その後、成虫やフラスの発見が相次ぎ、サクラ等への加害地域も拡大傾向にあり、農産物への影響が一層懸念されることから生態や被害について再確認し、迅速かつ具体的な対応・対策が講じられるよう理解を深めることを目的に、下記のとおり検討会を開催します。

記

1 日 時

令和8年9月11日（金） 13:30～16:00

2 場 所

室内検討会 各務原市稲羽コミュニティセンター（住所：各務原市上戸町3-324）
現地検討会 三井山公園（住所：各務原市三井山町）

3 内 容

13:30～14:40

室内検討：クビアカツヤカミキリの生態と被害対策

15:00～16:00

現地検討：クビアカツヤカミキリの被害の実際と対応・対策

4 参加者

市町村、JA等関係団体、県等

約80名

5 その他

取材される場合は、13:30に稲羽コミュニティセンターへお越しください。
駐車場は、センター駐車場をご利用ください。

<病害虫防除所>

病害虫防除所は、植物防疫法（昭和25年5月4日制定 法第151号）第32条に基づき、地方における植物の検疫及び防除に資するため各都道府県に設置され、主要な事務は植物の検疫、防除の企画や指導と協力、病害虫の侵入調査や発生予察調査等になります。本県は、岐阜県農業技術センター内に設置しています。

<クビアカツヤカミキリ>

○学名

Aromia bungii (Faldermann)

○生息域、生態

中国大陆を生息域としています。

成虫の体長は約25mm～45mmで、全身は光沢のある黒色、前胸背板（首の部分）が鮮やかな赤色を呈するのが特徴です。幼虫は乳白色の芋虫状で、樹体の形成層から木質部にかけて食害し、1～3年かけて羽化します。

成虫は年1回、6月中旬～8月にかけて羽化・出現し、雌成虫は1個体あたり300個以上の卵を産むなど極めて繁殖力が高いため、短期間での被害が拡大する恐れがあります。

○被害の特徴

主にバラ科の樹種を食害することが知られています。

国内ではまず、サクラでの食入・食害が知られており、農業被害としては、同じくバラ科の果樹である「ウメ」「モモ」「スモモ」での食害が確認され、産地においては枝の切断や樹体を切り倒して植え替えるなどの被害も報告されていて、警戒が広がっています。

<稲羽コミュニティセンター案内>



(C) 岐阜県